

「水辺・絆プロジェクト 2024」事業の公募を開始 —「水辺から地域を元気に」被災地域の水辺における活動を支援します—

東日本大震災からの復興事業により、沿岸部に新たなまちが整備され、地域活動により水辺の利用が再開されてきました。本プロジェクトは「水辺から地域を元気に」をテーマとして、被災地域の水辺における様々な活動の支援を目的として、令和 4 年度(2022)より事業の支援がスタートしております。下記のとおり、今回で 3 回目の公募を開始することとしましたのでお知らせします。

○このような活動は、震災伝承、防災・環境教育に有効であるばかりでなく、交流の拡大と絆を深める機会となり、併せて賑わい再生など、被災地の活性化にも大きく貢献するものと期待されています。

公募要件

- 事業エリア：津波被災地の市町村（青森県・岩手県・宮城県・福島県が対象）
実施主体：事業エリアに関わる地方公共団体、民間団体、実行委員会 等
対象事業：下記対象テーマに合致する事業
- ①水辺を活用した地域活性化活動・交流拡大
 - ②河川・海岸環境保全等への取組
 - ③防災・減災等に向けた取組

提出先

水辺・絆プロジェクト事務局（東北地方整備局 河川部 河川環境課）
※申請等に関する事前相談、問合せも随時受け付けます。

受付期間

令和 6 年 1 月 15 日（月）～令和 6 年 2 月 15 日（木）必着

その他

詳細は、別紙の公募要領を参照して下さい。
公募要領、応募申請書（様式）は、以下ホームページから入手できます。

<http://www.thr.mlit.go.jp/wwwroot/bumon/b00037/k00290/river-hp/Kasen/mizube-kizuna/mizube-kizuna.html>

※当該支援事業は、一般社団法人東北地域づくり協会の公益事業費を活用して実施しています。

<発表記者会> 青森県政記者会、八戸市政記者クラブ、三沢記者会、岩手県政記者クラブ、大船渡記者クラブ、宮城県政記者会、気仙沼記者クラブ、石巻記者クラブ、福島県政記者クラブ、いわき記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

QR コードはこちら



[本件に対するお問い合わせ先]

国土交通省 東北地方整備局 河川部 河川環境課

課長 おおだいら 大平 ともひで 知秀（内線 3651）
課長補佐 まぐち 菊地 じゆん 純（内線 3656）

仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎 B 棟

TEL 022-225-2171（代） FAX 022-215-3754